

## 日本語教育の「今」と

## 学習者が学びたくなる教室づくり

日本語支援が必要な人々が増え続けている今、国は、日本語教育・支援の枠組みを示すなど、さまざまな取り組みをしています。そこで、どのような新しい風が吹いているのかを概観し、「地域日本語教室だからできること」について、「人・社会とのつながり」を軸に見ていきます。

また、学習者が楽しく、いきいきと学べる実践をするためには、支援者にどのようなことが求められているのでしょうか。さまざまな実践例をもとに、一緒に考えていきましょう。明日の実践のヒントもお持ち帰りいただきます。

### 嶋田和子氏（アクラス日本語教育研究所代表理事）

長年、日本語学校で留学生教育・教師教育に従事し、同時に大学をはじめさまざまな教育機関において日本語教育人材の養成・研修に関わってきた。地域日本語教育では、能代市や浜松市などを中心に活動し、また全国各地の日本語教室や国際交流協会等で人材育成の仕事に取り組む。最近では「杉並区子ども日本語教室」を、区・交流協会・教育委員会とともに立ち上げ、杉並区総括コーディネーターとして、より良い教室づくりに力を注いでいる。教育の質の向上をめざし、新しい考え方に基づく教材開発や会話試験開発（JOPT）などにも長年関わっている。



### 第1回 7月23日(火): 10:00~12:00

地域日本語教室の役割と可能性

～人・社会とつながる教室づくり～

### 第2回 7月25日(木): 10:00~12:00

学習者がいきいき学べる実践とは

～事例で学ぶ「学習者への向き合い方」～

費用：無料  
定員：25名  
対象者：横浜市内で日本語ボランティアの活動をされている方  
（原則として全2回参加できる方）  
主催 & 会場：なか国際交流ラウンジ  
中区役所別館1階  
問合せ：045-210-0667  
申込み & アクセス：裏面参照

申込方法：下記のQRコードかメールアドレスで  
申し込んでください。

① 名前 ② 電話番号 ③ 活動教室名  
を記載の上  
(nakalounge@yoke.or.jp) まで  
お送りください。

申込開始：6/20（木）～



定員になり次第終了いたします。

## アクセス：



- ・ JR関内駅（南口）より徒歩7分
- ・ 横浜市営地下鉄関内駅（1番出口）より徒歩7分
- ・ みなとみらい線日本大通り駅（3番出口）より徒歩4分